



ノンユーザーの近隣住民にとっても便利なテナントを誘致



開店を待つファン。最後尾の人が入場するのに1時間かかった



名古屋市北部の2万平米の敷地に建てられた

ZENT名古屋北店』は約2万平米の敷地内にワンフロア2100台のホールと各種テナントで構成されている。

周辺には住宅地が広がるが、かつてこの場所は敷地いっぱいには黒い倉庫が建っており、薄暗い印象だった。同店は白を基調にしたシンプルで落ち着きある外観とし、建物手前に広い平置き駐車場を設けることで、明るく開放的な雰囲気を変えた。

敷地内にはツツジやオリブの植栽を設けたほか、現代美術作家ヤノベケンジ氏の作品、高さ6メートルの「ウルトラサン・チャイルド」を設置。同店は文化の発信の場にしたという善都の思いを象徴している。

『ZENT名古屋北店』の店舗面積は約6500平米（バックヤードを含む、テナント・駐車場を除く）。パチンコ1206台（4円貸し850台、1円貸し356台）ですべて各台計数。パチスロは894台（20円貸し778台、5円貸し116台）で5円貸しは各台計数。

同店の山内大亮店長は、2011年にオープンした、当時東海4県最大規模の『ZENT岡崎インター店』（1526台）の店長やエリアマネージャーを務めていた。その経験をもって、2100台という規模の運営は1500台の店の延長線ではない未知の領域。1000台規模5店舗を統括

日本最大ワンフロア2100台 幅広い集客狙い多様なテナント誘致

ワンフロアに2100台を擁する日本最大のホールが誕生した。愛知県、岐阜県を中心に大型ホールを展開する善都（愛知県豊田市）が4月25日にグランドオープンした『ZENT名古屋北店』の遊技フロア面積は約5000平米。善都にとっても「未知の領域」という規模だ。

ZENT名古屋北店
名古屋市北区

HALL REPORT



女性専用のリラクゼーションコーナー



店内も白を基調にしたシンプルで上質感がある



美術作品の展示で文化を発信していく



屋外に設置されたヤノベケンジ氏の作品



出入口から中央通路へと斜めに作られた通路



絨毯が敷かれたパチンココーナーを抜けると中央通路がパチスロコーナーへと続く



山内大亮 店長

当社が1000台超の大型店を初めて作ったのは14年前。それから「いつか日本一の店舗を作りたい」と思っていた。この『ZENT名古屋北店』は、業界に先駆けてきた当社の取り組みの集大成。年配層や女性が来店しやすい環境を整え、「なかよしコーナー」(ペアコーナー)で未経験者やライト層の来店をきっかけを作る。地域住民の一員として『ZENTができてよかった』と思ってもらえる企業でありたい。そのために、遊技客だけでなく近隣住民も利用できるテナントを誘致した。

都筑晶裕 常務取締役



四隅の出入口から中央通路へ斜めの動線が作られている



店内の端から端までの距離は約100メートル

「まず、1人でも多くのお客様に来店していただき、このZENT名古屋北店を体験していただきたい。そしてこの名古屋になくはない存在へと成長していくことが目標」と、山内店長は抱負を語る。

圧倒的な規模はもちろんのこと、女性が快適に過ごせるレストルーム、充実の景品、分煙対策、近隣のノンユウザーにとっても便利なテナント、地域への文化発信等々。同店はこれまでのZENTの取り組みの集大成であり発展型だ。

時から営業する。モーニング(朝食セット)の提供など、愛知の喫茶店文化の象徴といえる。パチンコホールへ併設はここが第1号。このほか、フラワーショップ、託児施設「びよびよ」、クリーニング店「ホワイト急便」が入る。

これらのパチンコ来店客の利便性を高めるとともにノンユウザーの近隣住民も日常使いできるテナントの誘致にこだわった。

美術作品を展示する「ZENT ART MUSEUM」もまた、パチンコ・パチスロ客以外の人でも気軽に立ち寄れるスペース。タレント・映画監督のピートたけし氏が原画を描いたステンドグラスやヤノベケンジ氏の作品などの展示を行う。また、新進気鋭の若手作家の作品を展示していくことで、地域に文化を発信していくという。

トイレは男女各3カ所。このうち最も大きいトイレは両サイドに出入口がある。女性用トイレ内は化粧台や、フイティングルーム(姿見付きの個室)がある。このほか女性専用の休憩コーナーがあり、女性客が快適に過ごせるための手厚い配慮が伺える。

同店は喫煙可で台間には分煙ボードを設置。さらに店内4カ所に喫煙ブースを設けている。隣の人に気兼ねなくタバコを吸いたいという喫煙者への配慮が、結果的に、喫煙者による自発的な分煙につながる。喫煙ブースは善都が近年出店した店舗では標準装備となっている。

テナントは、コンビニエンスストア「サークルK」、ラーメン「Sugakiya」、喫茶店「コメダ珈琲」。いずれも地元企業の誘致にこだわった。関東にも進出している「コメダ珈琲」は、朝7

するよりも間違いなく大変だろう」と語る。

ワンフロア2100台という巨大な店内への出入口は5カ所。立体駐車場と店内を結ぶエレベーターは2カ所。四隅の出入口から中央通路へと向かう斜めの通路ができるよう島を配置している点がユニーク。広い店内をスムーズに移動してもらったための工夫だ。

1円パチンココーナー、5円パチスロコーナーにはそれぞれ、「なかよしコーナー」と名付けた10組20人分のペアコーナーを設けた。

トイレは男女各3カ所。このうち最も大きいトイレは両サイドに出入口がある。女性用トイレ内は化粧台や、フイティングルーム(姿見付きの個室)がある。このほか女性専用の休憩コーナーがあり、女性客が快適に過ごせるための手厚い配慮が伺える。

同店は喫煙可で台間には分煙ボードを設置。さらに店内4カ所に喫煙ブースを設けている。隣の人に気兼ねなくタバコを吸いたいという喫煙者への配慮が、結果的に、喫煙者による自発的な分煙につながる。喫煙ブースは善都が近年出店した店舗では標準装備となっている。

テナントは、コンビニエンスストア「サークルK」、ラーメン「Sugakiya」、喫茶店「コメダ珈琲」。いずれも地元企業の誘致にこだわった。関東にも進出している「コメダ珈琲」は、朝7

するよりも間違いなく大変だろう」と語る。

ワンフロア2100台という巨大な店内への出入口は5カ所。立体駐車場と店内を結ぶエレベーターは2カ所。四隅の出入口から中央通路へと向かう斜めの通路ができるよう島を配置している点がユニーク。広い店内をスムーズに移動してもらったための工夫だ。

1円パチンココーナー、5円パチスロコーナーにはそれぞれ、「なかよしコーナー」と名付けた10組20人分のペアコーナーを設けた。